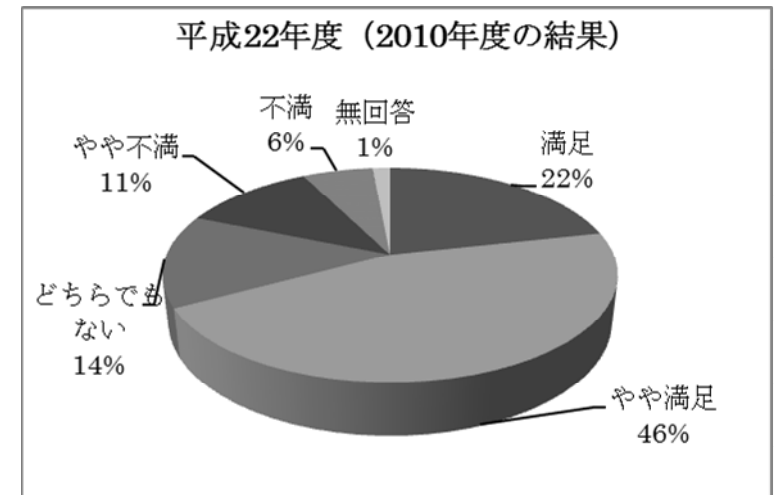
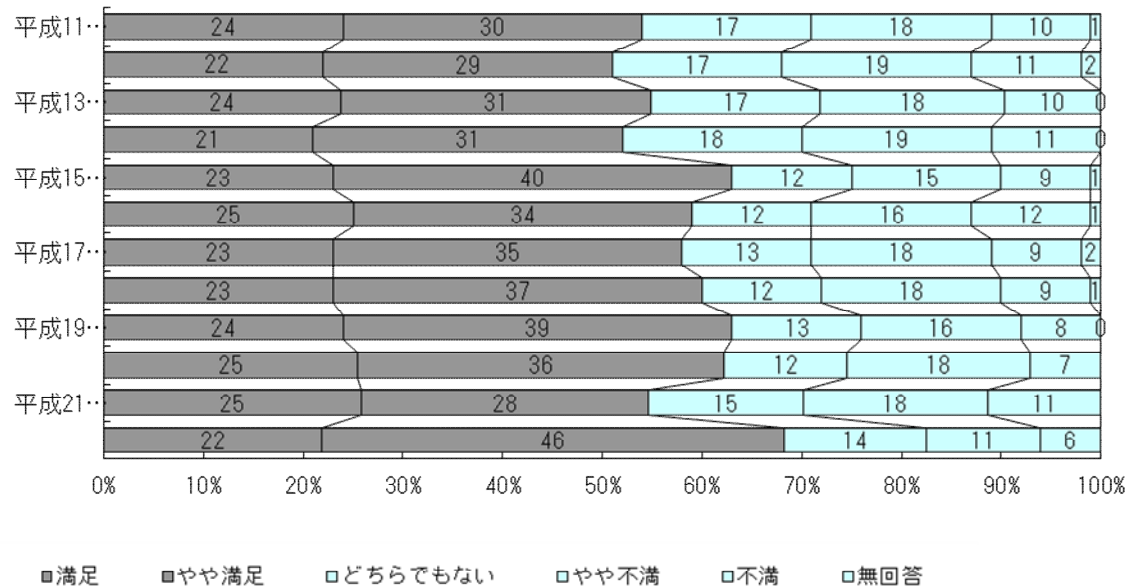


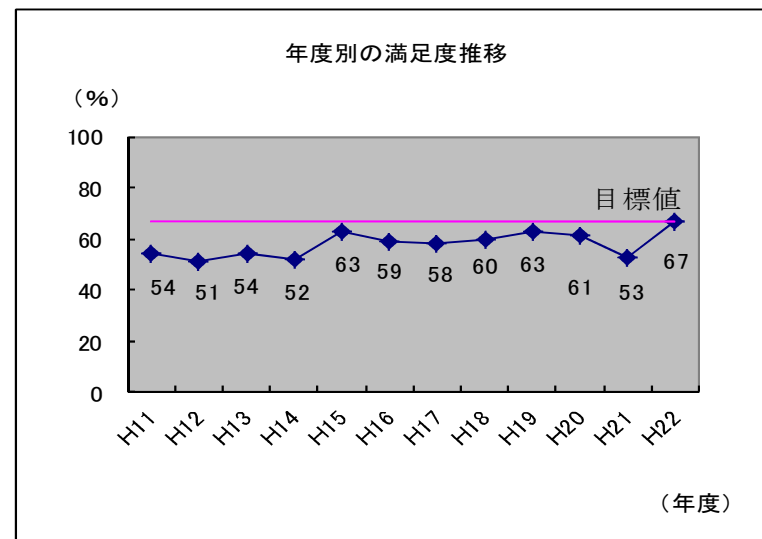
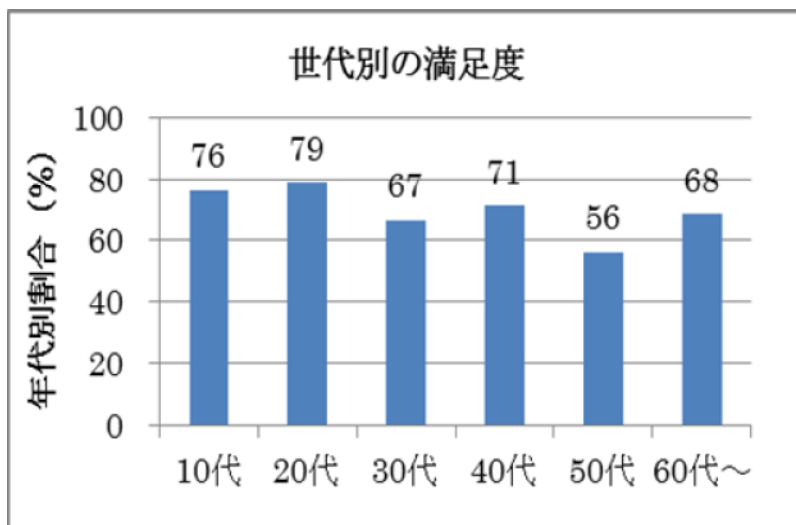
5 環境学習の推進

【施策達成目標－居住地の生活環境に関する満足度】

(1) アメニティ目標及び実績値

住民アンケート(無作為抽出)において、身近な生活環境に対する満足度を調査しております。下記の5段階評価の項目の中で、「満足」・「やや満足」と答えた市民の割合を平成23年度(2011年度)において、全体の3分の2(67パーセント)以上とすることを目指します。





(分析)

市民の居住地(半径200メートル以内)の生活環境に関する満足度は、目標としていた全体の3分の2に到達しました。年代別にみても、すべての年代で満足度が向上しております。

「どちらでもない」「やや不満」「不満」と答えた方が生活環境で満足しない理由として挙げられているのは、公共交通の不便さ、隣近所・近隣の事業所でのごみ等の燃焼による悪臭問題、他地域からの転入者のマナーの問題等、多岐にわたっております。自転車専用道路の整備の要望もありました。ハード面での整備は長期的な視点で考えなくてはいけません。自転車の普及が進んできたことが考えられ、市道において検討が始まっています。

一方で「満足」「やや満足」の理由として、温暖な気候、自然に恵まれた景観、また住宅街では道幅が狭いことにより、交通量が少なく静かであるとの意見も挙げられておりました。地域をあげた環境への取組みに対する評価もありました。

(2) エコライフ目標及び実績値

住民アンケートにおける5段階評価の項目の中で、「実行している」及び「だいたい実行している」と答えた市民の割合を、平成 23 年度(2011 年度)において以下の数字になることを目指します。

項目	H21 (%)	H22 (%)	H23 目標 (%)	達成状況	前年比(%)
ア ごみを減らす工夫をしている	70	73	81	×	-4
イ 買い物時に買い物袋を持参する	91	85	60	○	5
ウ ごみの分別はきちんとやっている	95	90	98	×	1
エ 環境に配慮した商品を買うようにしている	38	34	60	×	3
オ テレビや電灯はつけっぱなしにしないようにしている	80	79	85	×	-4
カ マイカーは使わずバス、電車などを利用している	10	10	25	×	-4
キ 環境に配慮した生活を積極的にしている	47		80	×	-1
ク なるべく自然とふれあうようにしている	25	31	75	×	-7
ケ 水を大切に使うようにしている	76	70	85	×	-1
コ 地域の良い景観づくりに協力している	72	68	67	○	1
サ 油を流しに流さないようにしている	90	85	98	×	1
シ ビニールやプラスチックを燃やさないようにしている	94		100	×	1
冷房・暖房の設定温度の見直しを行っている		69			
地元産食材を意識して購入、消費している		50			

単位：%

(分析)

前年と大きく変わるということはありませんでしたが、前年に引き続き、「イ」と「コ」は目標を達成しています。レジ袋有料化(平成21年2月～)と「飯田市景観条例」(平成19年施行)の浸透がその要因と考えられます。

今年度は質問項目を情勢に合わせて見直し、エネルギー利用の大きい冷暖房への意識や地産地消への意識を調査しました。当調査は東日本大震災発生以前に行われたため、次年度は電気の利用や農作物への関心の高まりが反映されてくると考えられます。

年度別の推移(項目ごと)

